



新年 あけまして おめでとうございます

### 岡コ協主催・共催の行事予定

#### 【まちかど国際交流 - 3丁目カフェ -】

担当：ボランティア部会  
日時：1月13日(土) 14:00～16:00  
場所：岡山ユネスコ協会事務所  
備考：まちかど国際交流 - 3丁目カフェ - 第5弾の開催です。今回はバングラデッシュ編です。次回は2月3日(土)アメリカ編を開催予定です。

#### 【世界遺産シンポジウム】

##### - 新世紀に引き継ぐ文化遺産 -

日本ユネスコ協会連盟では、世界遺産について正しく理解していただくために、どなたでも気軽にご参加いただける、わかりやすい「世界遺産シンポジウム」を開催します。

今年のテーマは「文化遺産」。人々がはぐくんできた建造物とその背景に見られる文化や歴史に焦点をあてると同時に現状と今後の保護の有り方についてお話しをうかがいます。

主催：(社)日本ユネスコ協会連盟  
日時：2001年2月28日(水) PM6:00～8:00  
場所：銀座ガスホール(326席)  
東京都中央区銀座7-9-15

入場料：無料

講師：森本哲郎(評論家)  
西村幸夫(東京大学大学院工学部都市工学部教授、日本ユネスコ協会連盟理事)  
フランソワーズ・モレシャン(仏政府対外貿易顧問、日本ユネスコ協会連盟理事、外地在留フランス人評議会アジア代表)

お申し込み：

はがきに、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記の上、下記宛てにご応募ください。

〒169 0075 東京都新宿区高田馬場  
4 17 15 405号

(有)プラセール「世界遺産シンポジウム」M係

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.unesco.or.jp/news/isan.htm>

### イベント情報

#### 【環境学習講座】

テーマ：省エネルギーから創エネルギーへ  
主催：岡山県生涯学習センター  
日時：2001年1月20日(土)  
13:30～15:30  
場所：岡山県生涯学習センター  
(岡山市伊島町3-1-1)  
講師：笠井博(環境カウンセラー)  
参加費：500円  
申込み・問い合わせ先  
岡山県生涯学習センター振興課  
TEL:086-251-9751

#### 【2000年度企業セミナー】

テーマ：事業者にとって化学物質の管理って？  
- P R T R法にどのように対応したらよいのかを学ぶ -  
主催：おかやま環境ネットワーク設立準備会  
日時：2001年1月20日(土)  
13:00～15:50  
場所：オルガホール  
(岡山市奉還町1-7-7)  
講師：環境庁環境安全課P R T R担当官  
参加費：1,000円  
申込み・問い合わせ先  
(財)おかやま環境ネットワーク設立準備会  
TEL/FAX 086-256-2565

#### 【「環境を考える」講演会】

テーマ：環境を考える  
共催：地盤工学会、廃棄物学会  
日時：2001年1月24日(水)  
13:30～17:10  
場所：カルチャーホテル  
講師：21世紀の環境問題 - 廃棄物問題の解決策 - (田中勝：岡山大学教授、日本廃棄物学会会長)他2題の講演  
参加費：2000円(学会員無料)  
申込み・問い合わせ先  
岡山大学環境理工学部環境デザイン工学科 竹下祐二  
TEL:086-251-8153  
E-Mail:yujitake@cc.okayama-u.ac.jp

**【平成12年度地球市民大学校 IN福山】**

テーマ：環境市民活動のための環境アセスメント講座

主催：環境事業団地球環境基金部

日時：2001年2月3日(土)、4日(日)

場所：福山市民会館  
(福山市霞町1-10-1)

参加費：2,000円

申込み・問い合わせ先

(財)水島地域環境再生財団

TEL:086-440-0121 FAX:086-446-4620

**【環境学習講座】**

テーマ：廃棄物と環境学習

主催：岡山県生涯学習センター

日時：2001年2月10日(土)  
13:30～15:30

場所：岡山県生涯学習センター  
(岡山市伊島町3-1-1)

講師：三宅直生(環境カウンセラー)

参加費：500円

申込み・問い合わせ先

岡山県生涯学習センター振興課

TEL:086-251-9751

**【美しい地球を子どもたちに】**

テーマ：地球は今

主催：女性フォーラム芳井

日時：2001年2月18日(日)  
13:00～16:00

場所：芳井町民会館

講師：高木善之(ネットワーク「地球村」代表)

参加費：1000円

申込み・問い合わせ先

女性フォーラム芳井

TEL:0866-72-0611(妹尾)

**【環境学習講座】**

テーマ：自然保護とまちづくり

主催：岡山県生涯学習センター

日時：2001年2月24日(土)  
13:30～15:30

場所：岡山県生涯学習センター  
(岡山市伊島町3-1-1)

講師：徳永功(環境カウンセラー)

参加費：500円

申込み・問い合わせ先

岡山県生涯学習センター振興課

TEL:086-251-9751

**「スペイン・コンポステーラ会議(環境教育に関する国際専門家会議)」****参加報告**

アジア・太平洋地域(環境教育)専門家代表 池田満之(岡山ユネスコ協会理事)

2000年11月20～24日、スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラにて、「環境教育に関する国際専門家会議」(主会議)と、国際環境NGOや専門家などによる大会(オープン会議)が、ユネスコとスペイン・ガリシア地方自治政府によって開催されました。このうち主会議は、世界中の全地域を代表して招集された29カ国33名の環境教育に関する専門家の代表による会議で、専門家により20世紀の環境問題を振り返り、21世紀に向けた環境教育のあり方を討議するのが目的でした。ここでは、「行動のための新しい提案」というタイトルが付けられ、具体的なガイドラインづくりが行われました。特に、「グローバリゼーション」「生物多様性」「景勝地の保護と持続可能な観光産業」「飢餓と貧困の克服」「平和的な共存」の5つの主要テーマについて議論されました。この主会議には、アジア・太平洋地域の専門家代表(5人枠)として、日本からは唯一、私(池田満之)が招聘されました。主会議に出席した私は、「平和的な共存」に関する作業グループに属し、その草案づくりを担当しました。私はこれまでの体験・活動から、「自ら学び考え行動する人を育成するために必要な科学的基礎知識、それに裏付けられた体験・活動、成果の共有」、「学校と地域社会との連携、ネットワークの構築」、「学習者が主体で参加型であること」、「教育者のトレーニングシステムの整備並びにプロのコーディネーター育成の必要性」といった事項を主張・提案しました(「環境サポートセンター構想」(世界的な情報の共有化、ユネスコブランドの信頼性の高い情報ソースの整備、国際的視野に立った教材等の共同開発、教育指導者のトレーニングサポート、等々を可能とするネットワークシステムの構築と拠点センターの整備)につながる内容です)。この主会議で作成され、会議最終日に発表されたドラフト(草案)は、2001年2月28日までに仕上げられ、4月にユネスコから各国政府及び関係機関等に配布(インターネット上でも公開)されます。これは、全世界で21世紀はじめの環境教育のガイドラインとして役立てられるほか、2002年に南アフリカ共和国で開催される地球サミット「リオ+10」に向けての政策立案のためのガイドラインとしても用いられることが、ユネスコにより勧告、奨励されます。また、国際環境NGOや専門家などによる大会(一般向けのオープン会議)には、日本からは唯一、岡山ユネスコ協会が公式招待され、橋本事務局長が会を代表して発表(会の活動紹介と「環境サポートセンター構想」の提案)を行いました。この環境教育に関する全世界的な国際会議(主会議並びに大会)への日本からの参加は、岡山からの7名(池田満之、橋本徹決、佐橋 謙、片山主計、廣田陽子、難波芳子、臼井隆子)のみであったため、日本の環境教育は岡山、岡山は日本における国際的拠点という印象を持った世界の人たちも多かったのではないかと思います。なお、本会議の詳細については、岡山ユネスコ協会作成の報告書をご覧ください。

---

# ユネスコ主催の国際会議に参加して

(於：スペインのガルシア地方自治政府州都コンポステラ)

岡山ユネスコ協会 事務局長 橋本徹決

去る11月20日(日)より24日(金)まで、スペインの地方州政府(全体で17地方自治政府)のひとつであるガルシア州の州都のコンポステラで、環境教育に関する国際会議が開催され、これに国際NGOとして招待され参加しました。この会議は、ガルシア州政府と国連の専門機関であるパリ・ユネスコ本部との共催でした。スペイン各地方州政府の参加協力を得て、ガルシア州政府がユネスコと共同主催の形で全面的に協力していることを、そして、地域市民と一体化した環境政策を強烈にアピールすることに成功していたことに、私は大いに感心しました。

この会議の目的は、世界5大陸(29ヶ国)から招聘した環境教育に関する専門家(33名)が、従来の生活の質・条件を変更するような環境教育の方法・資材等を共同で検討し、全世界の人々に効果的な教材として提供すること。そして、現在の世界の主要な環境及び開発問題の主たる要因が、実生活に関係があることから、この教材を通して現在の環境を改善させるために、各地域市民がチャレンジすべく検討することが目的でありました。

この環境教育システムを検討するために、次の5つのテーマに基づいて基調講演が行われ、続いて事例発表や提案、公開討議が行われました。すなわち、(1)平和共存と環境教育、(2)山岳景観と持続可能な観光事業と環境教育、(3)生物多様性と保護区と環境教育、(4)環境の複雑性とグローバリゼーションと環境教育、(5)飢えと貧困と環境教育、であります。

環境教育を主題とした国際専門家会議の開会式では、ユネスコの「持続可能な未来のための教育」担当責任者であるグスタボ・ロペス・オスピナ氏や招聘した各国の専門家の一部の方々依次为次のように述べました。「世界の20%の人口が地球80%の天然資源を使い尽くしている。この地球を救うためには巨大な変革がどうしても必要で、強いていえば、先進国だけに役立っているような地球を救うためには、大きな変革が必要である。」オスピナ氏は、さらに続けて、各国から600人以上の環境の専門家が会議に集っており、国民の一人一人に参加を呼びかけ、環境教育を薦めなければならないと述べ、次の4項目を掲げました。まず、現在の環境問題を解決するために、世界の方々が如何にして思考を変えるかを考え、新たなヒューマニズムに向け失ったものを回復したい。つぎに、国内総生産の指標に視点を置くのではなく、生活環境向上の指標に視点を置くような社会にし、創造や刷新が各国において行われればこれに勝るものはない。さらに、企業経営を考慮する場合、経済的利益よりまず生活環境を優先するようなものを作り上げ、環境を保護する財源がより大きくなるような企業経営を行うこと。そして、これまでの学校での環境教育を考える場合、環境教材というよりも、教育システム自体を変更することを考えたい、とのことであります。

このようにして、5日間にわたり、各国参加者、地元市民、スペイン各地大学生、企業経営者、環境カウンセラー、環境NGO等が活発に討議しました。私は、「岡山ユネスコ協会」の代表として4人のNGO(地中海NGO、コスタリカNGO等)と共に、活動事例と世界の市民レベルの環境問題を解決するための環境情報収集、環境情報交換、地域レベル環境問題解決交換等を図ることを目的とした「ユネスコ環境サポートセンター」の岡山設置の提案を行いました。この提案に対して、パリ・ユネスコ本部担当者グスタボ・ロペス・オスピナ氏は大いに賛同し、その場で、是非とも2002年の「リオス+10」の提案プロジェクトとして提案したい、再度正式に提案してもらいたい旨の要望を受けました。

この会議参加の最大の収穫は、世界のあらゆる分野の環境専門家及び世界の環境NGOと相互の情報交換の可能性が開け、「ユネスコ環境サポートセンター」岡山設置に向けての強力な支持が得られたことです。帰国後すぐに、数カ国の環境専門家からメールが来ており、将来に向けての展開が楽しみです。

---

## UNESCON TODOS ~スペインの夕べ~ 開催結果報告

スペイン・コンポステラで開催された「環境教育に関する国際専門家会議」の報告会を、85名の参加者を集めて平成12年12月15日(金)に国際交流センターで開催しました。第1部はコンポステラ会議の参加報告、第2部はユネスコ激論トークコーナー、コンポステラ会議質問コーナー、スペインコーナーに分かれての意見交換を行いました。また、第2部終了後にはフラメンコと和太鼓の演奏が行われ大変盛りだくさんな内容であったという間の3時間30分でした。



コンポステーラ会議参加報告



受付の皆さん（この会の開催にはボランティア部会の皆さんが非常に尽力されました）



情熱の国 スペインの舞い



日本の伝統芸能 感動の和太鼓

### 【ユネスコ激論トークコーナーまとめ】

UNESCON TODOS 第二部にユネスコ激論トークコーナーを設けて、岡山ユネスコ協会の活性化について話し合いが行われました。今回は、時間的な制約があったこともあり、岡山ユネスコ協会の方向性を打ち出すことはできませんでしたが、今後の岡コ協活性化議論において非常に参考になる意見を頂戴しました。これらの意見の一部と全体の要約は以下の通りです。せっかくの議論を無駄にしないため、今後はこの議論の内容を活かした会の活性化策を検討する必要があります。

- ・部会の活動が理事会にどのように伝わっているのかわからない。部会独自で行っている活動は、本当に理事会の承認を得ているのか。
- ・ある意味自由で活発な部会の活動を理事会が制約することはない。しかしながら、組織としての活動は一本の筋を通す必要がある。
- ・生物多様性と同じく、多様性が無くなるとその世界は衰退する。幸い、ユネスコの会員や活動には多様性がある。この多様性こそがユネスコのいいところであり、それらを活かした組織作り及び活動が重要である。
- ・岡山ユネスコ協会にはサロンの要素もある。サロンの要素を否定することは、多様性を否定することであり、サロンの要素があることも多様性の一つと認めつつ発展する必要がある。しかしながら、岡コ協が会員制サロン化してしまったのでは、早晩岡コ協は潰れるであろう。（以前、岡山大学に存在したユネスコ活動が消滅したように）
- ・環境 - 国際 - 郷土（3K）をキーワードに会の活動を活性化したい。（会長）
- ・善し悪しはともかく、ユネスコの名を使うことにより、個人ではできない活動が可能である。その意味で活動の場を提供できることも岡コ協の存在意義としては重要である。
- ・理事会、事務局の現在のあり方が岡コ協の活動を停滞させている。抜本的改革が必要である。
- ・活性化のためには会長を始めとする理事会の牽引力が必要ではないか。

【まとめ】会の活動が継続するためには、会員の年齢、職業、考え方に多様性が必要である。幸いにも岡山ユネスコ協会の会員や活動には多様性がある。この多様性こそが岡コ協のいいところであり、今後はそれらを活かした組織作り及び活動が重要である。岡コ協は、活動目的と存在意義をより明確にすることが必要である。そのため、環境 - 国際 - 郷土（3K）の3つのキーワードを柱とした活動を展開することとし、年齢的にも職業的にも階層的にもすべての市民が自由な意見を持って参加し、活動できる場を提供する。しかしながら、岡コ協をさらに発展させようとした場合には、理事会、事務局のあり方を再検討し、より活動を活性化させるための組織及びシステムを構築する必要がある。また、一般市民へ岡コ協の活動を紹介するとともに、会員と理事会の情報交換、会員同士の情報交換の場を設けることも今後の課題として検討される必要がある。

---

## UNESCON TODOS 参加者の声

### 高島尚子 (ボランティア)

初めての参加でしたからボランティアであれだけのものがつくれてすごいと思いました。参加費も妥当で人がたくさん集まったと思います。私の役割は当日だけでそんなに忙しくありませんでしたが内容の濃い発表が時間もおされぎみで、あまり聞けず残念でした。飲み物は差し入れがなかったら足りてなかったし、食べ物も種類が少なかったのかすぐなくなりましたね。おかげですきっ腹で飲んで、目がすわちゃいました。でも、ユネスコの紹介、発表、顔合わせなど目的は達成されたのではないかと思います。お疲れ様でした。

### 重西 薫 (ボランティア)

私が今回、12月15日に行われた岡山ユネスコ協会主催「UNESCON TODOS～スペインの夕べ」に参加しようと思ったのは、以前から環境保全に興味があったのと岡山ユネスコ協会の活動に興味があったという理由からでした。第1部ではスペイン・コンポステラ会議(環境教育に関する国際専門家会議とNGO等の発表大会)に出席された池田満之さんをはじめ、数人の方々が会議の報告をされました。近年、いろんな場所で「地球にやさしい」等といった文句で宣伝される商品を見かけるようになり、人々の環境保全に対する意識が高くなってきていると感じます。私もそれに影響されて環境問題に関する本を読んだりしました。しかし、問題を知って、そのために自分は何が出来るのかと考えるとなかなか思い浮かびません。これから必要となる環境教育とは人々に問題を認識させ、知識、技能、態度を身につけ、そして自ら解決するための行動をおこさせるものでなければならないと分かりました。また、環境教育には貧困と飢えの問題解決とも関わっていることを新たに知りました。第2部では3つのコーナーに分かれて意見交換・交流等がありました。激論コーナー・目玉コーナーでは参加者から多くの質問や意見が出て、討論されました。その後のフラメンコや和太鼓の演奏は私は実際に見るのは初めてで、フラメンコは大変私を魅了し、和太鼓の演奏はとても力強く、感動しました。最後のおみやげ抽選会では、残念ながら私は当たりませんでした。スペインのTシャツ、カスタネットや麻袋等がくじで当たった方に手渡され、喜ばれていました。今回このイベントに参加し、会議に出席された方々のお話を聞いて、この問題に対して世界の専門家の間で何が問題とされ、どんな提案が出ているのか知ることが出来て良かったと思います。そして、私がこのイベントに参加する目的の1つでもあった、岡山ユネスコ協会がどんなものであるか知ること出来て、大変楽しい時間を過ごしました。

### はらだなおき (ボランティア)

今回のトードスがユネスコ初参加だったので、ユネスコって何?という感じの出発でした。でも当日トードスの感想は何これ、完璧じゃーん!そんな感じでした。誰にも文句は言わせないって胸はれるくらい立派なものだったとおれは思います。

ユネスコボランティア部ってすごいです。たぶんすごいですよ。だってみんな頭いいし、働き者だし。そんな人がたくさんで、しかもいろんな人がいるし。普段怠け者でサボる方法ばかり考えているおれも思わずがんばっちゃおうと思ったぐらいです。こんな素晴らしいユネスコなんだし是非来年もこのような報告会を開催すればどうでしょうと思いました。お疲れ様でした。それと大成功に乾杯です。

---

## ユネスコ・ユースセミナーが開催されます

平成13年2月11日～12日に、東京代々木のオリンピックセンターにおいて日ユ協連主催でユネスコ・ユースセミナーが開催されます。岡山ユ協からは藤原武士、山下浩由、原田直樹、小竹祐加、米津孝成が参加します。

近年、全国で盛んになっている青年ユネスコ活動の動きに合わせ、新しいネットワーク作り・全国規模あるいは地域ブロック規模での独自の青年イベントの実施を目指した話し合いが予定されています(注)。青年ならではの横の繋がりやネットワークはユネスコ全体の活性化につながるものと考えられます。これからの全国の青年ユネスコ活動にご期待下さい。なお、ユースセミナーに続いては6月に岐阜市で行われるユネスコ運動全国大会において青年担当のセミナーが企画されています。

(気仙沼ユ協・岡ユ協vol部会) 米津孝成

注・「青年」とは基本的に高校生から35歳までを指します。

---

## キエフナイチンゲール合唱団

14年前の1986年4月26日 添黒の闇を貫いてキエフ北部の原子力発電所で大爆発が起こった。大量の放射性物質が空高く舞い上がり世界へ広がったが子供達は事故のことを知らされず、無邪気に外で遊んでいた。そこへ目に見えない放射性物質が子供達の体をおそい多くの子供達が被爆しました。

11月13日(月)このウクライナ、キエフからキエフナイチンゲール合唱団8名(9歳~14歳)が来岡しました。三菱自動車販売本社ショールーム・ステージで行われるコンサートまでの間、岡山の子供達と交流を持ってもらおうと平福小学校の児童113名と「海をこえて手をつなごうー私たちの出来る国際協力」というテーマで2時間交流を行いました。とにかく大変温かい歓迎をうけ、今のウクライナの様子やお互いの行っている国際協力について情報交換をしました。

また岡山後楽園ではお茶席を設け吉備団子とお抹茶で日本の文化にふれてもらい(かなりながそうでしたが...)その後園内の観光をしました。とにかく天気がよく子供達も元気に走り回っていました。

夜行われたチャリティーコンサートには100名以上の観客の前でキエフの歌のほかに日本の‘小さい秋みつけた’や‘四季の歌’など心温まる歌に観客も聞き入っていました。文化機関としてのユネスコにこれからも岡山でもっと力を注ぐことができれば、と思う一日でした。

坪井知恵

---

## 南京「日軍大屠殺記念館」を見学して

2000年10月11日標記の記念館を見学する機会があった。ユネスコが「平和」を標榜する以上、平和学習の一環としてかような施設を見学し、戦争の意味を考えるのはムダではないと思い、参加した。主催は「同和問題にとりくむ岡山県宗教教団連絡会議」(略称岡山同宗連)であった。

大急ぎの見学で、時間不足は否めなかったがそれでも多くの実物(七重に積み重なった遺骨がそのままの状態で見学されている)写真、映画、証言などで何があったのかについては明確に認識することが出来たと思っている。

戦争は狂気だ、戦争さえなかったら南京大屠殺も、広島・長崎も、アウシュビッツもなかったはず。今でも地球上のあちこちに戦争や、その種火が幾つもある。こういうことにユネスコはもっと積極的に関われないのか、と思う。

南京旅行についての詳細は別途レポートを書いている(岡山部落解放研究所報213号)。ご希望の方があれば、無料でお送りする。但し残部僅少。

佐橋 謙

---

## 事務局からのお知らせ

### 【会員増強にご協力下さい】

岡山ユネスコ協会活動の活性化のために、会員の増強にご協力下さい。入会希望の方がおられましたら、入会案内書を送らせていただきます。事務局にご一報下さい。

### 【会費納入のお願い】

事務局では現在、会員の再確認と会員増強活動を行っています。会費未納の方は退会扱いとなります。早急に納入をお願いします。

振込先：郵便振替 0 1 2 4 0 - 9 - 3 8 2 8 0      岡山ユネスコ協会

### 【原稿募集】

ニュースは2ヶ月に1回発行しています。イベント情報、イベント参加報告など、会員に広くお知らせしたいことがありましたら、事務局に郵送していただくか、編集担当の井勝までメールでお知らせ下さい。次号の原稿締め切りは2月25日です。 sanpopo@cc.okayama-u.ac.jp

### 発行 岡山ユネスコ協会

〒700-0026 岡山市奉還町3丁目1-28 TEL&FAX 086-255-0651

ホームページアドレス：<http://www.ddn.ne.jp/~o-unesco/> E-mail：[o-unesco@ddn.ne.jp](mailto:o-unesco@ddn.ne.jp)